

令和3年第1回オガサワラカワラヒワ保護増殖検討会

# 生息域外保全事業の進捗状況について

目的：生息域外における飼育・繁殖の実施と技術確立  
～生息域内の繁殖環境が改善されるまで～



1. 飼育施設の状況
2. 飼養個体の捕獲および初期飼育状況

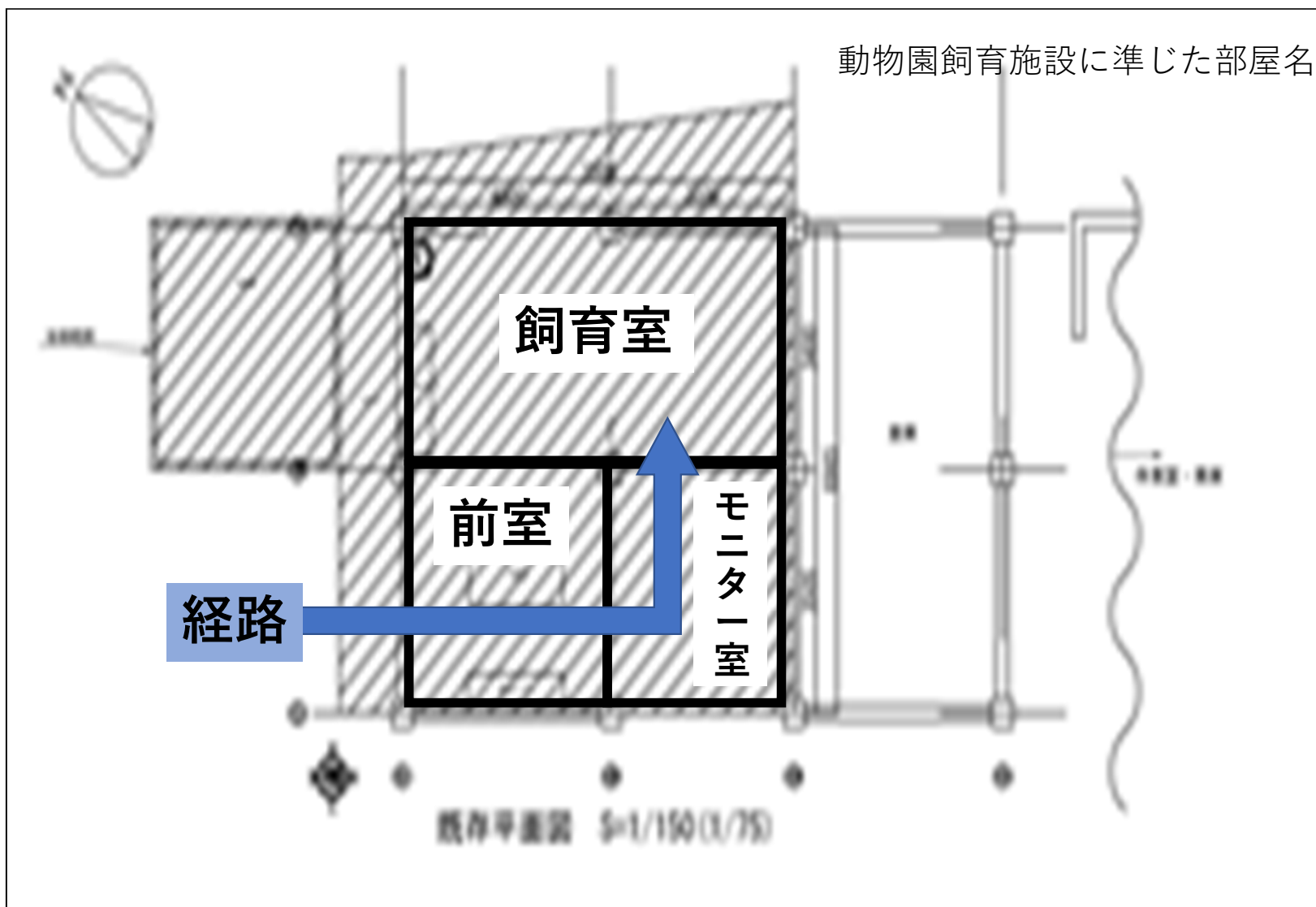


東京都

受託者：NPO法人小笠原自然文化研究所

# 1. 飼育施設の状況

動物園飼育施設に準じた部屋名



# モニター室設備



洗浄槽

## 母島での飼育カゴ



流し台

冷蔵庫

冷凍庫

カメラモニター  
エアコン



# 飼育室

## 飼育ゲージ2基



1840x1880x2020(h)mm  
ピッチ11mm  
主な線形2mm  
スチール製



# 飼育室設備



エアコン



排水溝



鳥が巻き込まれない換気扇



自動点灯・消灯

# 飼育ゲージ





# 恩賜上野動物園からの資材提供





# 初期飼育施設

静音、空調、施錠管理、逸走防止



二重ドア

## 2. 飼養個体の捕獲および初期飼育状況

## 母島でのオガヒワ捕獲および飼養作業の経過について

- 7月27日：生息域外保全に関する検討打合せ（捕獲数、捕獲スケジュール）
- 7月30日：東京都オガサワラカワラヒワ保護増事業、環境省適合確認
- 8月17日：8月末の捕獲作業を延期決定
  - （母島でのヒワ出現がなく、村内で新型コロナウイルス感染症が連続して発生し、技術者来島自粛）
- 8月25日：父島内の飼養施設の受け入れ準備完了
- 9月13日：捕獲エリアに継続的にヒワ出現（9/3～）
  - （村内で新型コロナウイルス感染症を一掃でき、捕獲作業9/22～30へ変更）
- 9月18日：捕獲地点で寄せ餌開始、翌日よりヒワ採餌
- 9月23日：捕獲開始、5羽捕獲成功、母島施設で初期飼養開始

\*9月27日頃、台風接近が予想されるため、捕獲作業は9月24日までとし、9月25日に初期飼育個体を父島施設へ移送



# 7月27日オガサワラカワラヒワ生息域外保全に関する検討打合せ

開催者：東京都小笠原支庁

開催日：令和3年7月27日 オンライン会議

概要：令和3年度夏期のオガサワラカワラヒワの試験飼育の開始にあたり、有識者10名および保護増殖事業に係わる行政機関（環境省、林野庁、小笠原村）が集まり、生息域外施設の準備状況、生息域内の繁殖状況等の最新情報を共有し、具体的な進め方について検討した。有識者は、令和2年秋のオガサワラカワラヒワ保全戦略ワークショップの域外及び域内保全の参加者（生態学、保全生物学、動物園、解析モデル、地元NGO・NPO）が出席した。

## ■ 決定事項・合意事項

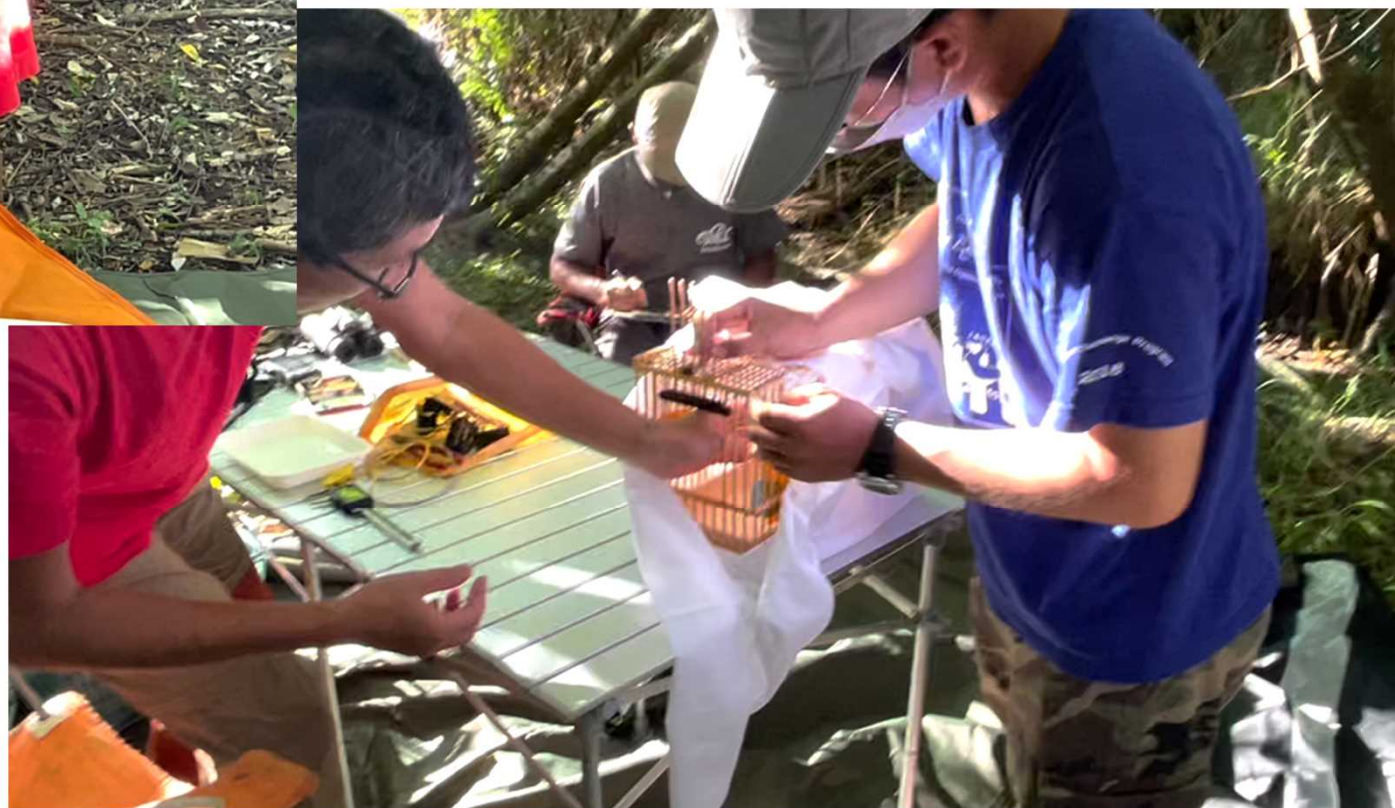
- 捕獲を 8/18~8/25 に実施する。**捕獲数は4羽**で合意した。当該期間に4羽捕獲できなかった場合には、9月下旬に再度母島で実施する。
- 捕獲した個体の中で、若鳥で餌付きやすい個体を優先して選別し、つがいにする。4羽のうち、成鳥は多くても2羽とする。

## ■ 検討事項

- 今年は例年と比べ、母島内での目撃情報が少ないため、実施日(8/18~8/25)の直前まで姿が確認されなければ、当初の実施時期を9月下旬に変更するか。
- 母島での捕獲が困難な状況であれば、属島での捕獲も検討すべき。その場合、属島での捕獲を想定した予行演習をする必要がある。実施の有無・方法は9月中旬には判断する。



捕獲鳥の標識装着、竹カゴ  
への収容し母島施設へ移送







母島飼養施設で餌付け確認成功（5羽）  
（2021/9/23）

オス（成鳥 1 羽、若鳥 1 羽）、  
メス（若鳥 3 羽）



餌の減り具合等を確認して、  
9月24日に4羽を選別  
9月25日に1羽（メス若鳥）を  
捕獲場所にて放鳥  
検疫のため、糞を上野動物園へ送付



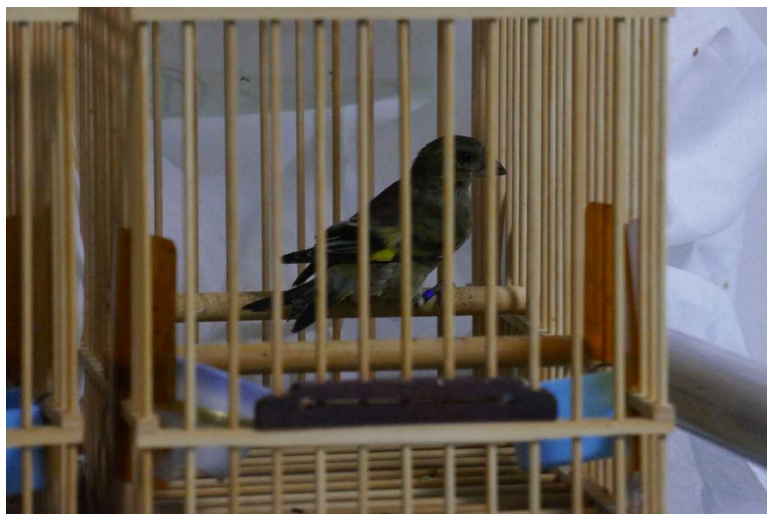


ははじま丸甲板移送状況 9/25

9月25日に4羽を選別して、父島施設に移送

	若鳥	成鳥
♂	1羽	1羽
♀	2羽	0羽





#1 メス 若鳥 右足青、左足赤&橙



#2 オス 若鳥 右足青、左足赤&青



#3 オス 成鳥 右足青、左足赤&紫



#4 メス 若鳥 右足青、左足赤&水色